

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

物事を完成する生き方 伊與田 覺 (論語普及会学監)

1. 私が若い時分に懇意にいただき、感化を受けた恩人の一人に、蓮沼門三という方がいらっしゃいました。蓮沼先生は、日本の社会教育団体の草分けともいえる「修養団」の創設者としてつとに知られた方ですが、食事を共にする機会がある時などにしばしば「物事を完成するには、こういうことが大切なんだよ」と説き聞かせてくださった次の訓戒がいまでも大変印象に残っています。
2. 「点々あい連ねて線をなす。線々あい並べて面をなす。面々あい重ねて体をなす」。点と点を連ねて一本の線をつくる。その線を並べていくと面になる。その面を重ねていくと一つの体になる。自らの目標に到達しようと思えば、このような生き方を貫いていくことが重要なのです。
3. 「中庸」という古典には、この訓戒に通ずる教えが次のような言葉で表現されています。「至誠は息む無し。息まざれば則ち^{すなわち}久し、久しければ則ち^{しるし}徴あり」。至誠（誠実）というものは、本気である。茶気（遊び心）ではない。内から湧き出て止まる時がない。休まらずずっと続けていると、それまで見えてなかったものが見えるようになる。「徴」とは印、兆^{きざ}しのことです。誠実に、久しく物を続けることは、物事を完成する上で不可欠な姿勢なのです。

(参考:「致知」2014年2月号)

人事・労務について

100万人に1人の価値ある存在になる

藤原 和博 (教育改革実践家)

1. 私の経験から言えるのは、1万人に1人、100万人に1人の価値ある存在になればどんな世の中でも生き残れるということ。では、どうしたらそうした存在になれるのか。大切なのは100分の1を掛け合わせることだ。どんな人でも1万時間をかければ今の仕事をマスターし、100分の1の存在になれる。もう1分野で100分の1の存在になって掛け算をする。100分の1×100分の1は1万分の1。3分野を掛ければ100万分の1で、同世代に1人の価値ある存在になれる。
2. 何をしようとして今後必要になるのは、情報の「編集」力だ。知恵を使い、情報をつなげて編集する力がカギになる。そのために、社内のチームのメンバーや取引先との共通点を探ってみよう。共通点が見つかれば信頼を得られやすい。アイデアも生まれ、日常の改善も早く起きるようになる。

(参考:「日経ビジネス」:2013年12月30日号)

経営者のための危機管理

安売で疲弊するスーパー

1. スーパーの経営は厳しい状況が続いている。全国のスーパーの売上高は既存店ベースで1997年代以来16年連続で前年実績を割り、市場は縮小している。帝国データバンクが集計した全国のスーパー770社の2012年度業績では、69%が減収、19%が赤字だった。2013年度上期の小売業の倒産件数は1021件となり、前期(2012年下期)に比べて46件増加。2013年10月で183件で、前年同月比11%の増。「食品や日用品の厳しい価格競争が長年続いており、力尽きる中小スーパーが増えている」と分析する。
2. スーパーからお客を奪い、成長しているのは、コンビニエンスストアとドラッグストアだ。ドラッグストアは医薬品販売での競争が穏やかで値下げ圧力が少なく、高い利益を上げられる。それを原資に食品や日用品を安売りして集客を図るのだ。コンビニはスーパーの有望市場(付加価値の高い惣菜商品)を侵食している。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2013年12月号)

古典に学ぶ

名利と生命

(解説) 地位と生命とは、どちらが大切か。生命と財貨とは、どちらがありがたいか。名利を得ると生命を失うとは、どちらが苦痛か。地位への執着がすぎれば、消耗することもひどく、財貨の蓄積がすぎれば、亡夫の度合いも大きい。控え目にしていれば、恥を受けることもない。限度を心得ていけば、危険はない。身はいつまでも安泰だ。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)